



86名の新入生を迎えて

校長

4月9日、火曜日、優しい春の雨の中、86名は、薬師中学校での第一歩を踏み出しました。

第54回町田市立薬師中学校入学式は、全員出席の入学生と2、3年生の在校生、そしてたくさんのご来賓の皆様、保護者の皆様に見守られて、無事に行うことができました。

ちょっと緊張した表情をしていた1年生ですが、「新入生紹介」で、担任の先生から一人一人名前を呼ばれると、皆、大きな声でしっかりと返事ができました。「返事」をする行為は、「自分は今、薬師中学校の1年生としてここにいます」「よろしくお願いたします」そんな気持ちを「はい」のたった一言に込める、もっとも短い意思表示です。返事を聞きながら、校長として、これから始まる薬師中学校生活を充実したものとするために、大切にして欲しいことを二つ、話をいたしました。

一つ目は感謝の心をもつこと。「ありがとう」の反対の言葉は「あたり前」です。今日の入学式の準備、中学校入学にあたって必要な物を用意してくれたこと、入学式に参列していただいたこと、これらは決して「たまたま」ではありません。「あたり前」ではありません。自分の周りの方々、ここにいない方々も含めて、これからの生活や成長を支えてくれる人たちの存在とその方々への感謝の心をもつことを忘れないようにしましょう。感謝の言葉「ありがとう」は、応援してくれる人を増やしていき、悩んだり、迷ったりしたときの心強い味方になりますから、と話しました。

もう一つは、「前向きに挑戦しよう、言葉が自分の心を作る」という話です。人間の体は、生まれてから今まで食べたもので作られますが、人の心は何で作られるのでしょうか。それは「聞いた言葉」です。自分が発する言葉を一番よく聞くのは自分です。「嫌だ」「無理だ」「面倒だ」「周りが悪い」など不満や不平など聞かせるのではなく、前向きな言葉をたくさん聞かせて、前向きな言葉とともに可能性を信じて色々なことに挑戦していこう、という話を、新入生にエールを送りました。

そして、「誓いの言葉」では、新入生代表生徒が、小学校より内容が難しくなるが、予習、復習を欠かさずに「勉強」を頑張り定期考査で努力の成果を発揮したい、「部活動」では、厳しい活動にも挑戦し、強くなりたい、仲間と全力で取り組み、楽しみたいと、決意を述べてくれました。同じように新入生一人一人に決意、86通りの決意があるでしょう。どうぞ、その初心を忘れずに、薬師中の新たな歴史の1ページを共に仲間たちとつくっていきましょう。

在校生代表の生徒会長は、「歓迎の言葉」で言っていました。中学校3年間は思ったよりも早い、だから薬師中で「挑戦」し新たな「楽しみ」を見つけ、困ったときは「私たち（先輩）」に相談し、一緒に明るい薬師中を作っていきましょう、と。実感のこもった言葉です。

1年生の皆さん、仲間、先輩方、先生たち、保護者や地域の方々とともに「また明日」と言いたくなる学校をつくっていきましょう。

「大切なのはかつてでもなくこれからでもない一呼吸一呼吸の今」

表題は坂村臣民さんの詩です。春休み中、大きな事故やトラブルなく、皆、無事に始業式を迎えた中で、表題の詩とともに、校長より2、3年生には、3つの課題を出しました。

- 1 粘り強く自主的に勉強をしよう（中学生の本文は勉強です）
- 2 自分や仲間を信じ前向きに協力しあおう（一人でもできる、仲間ともできる）
- 3 挨拶を自分からすることを心がけよう（人と人をつなぐ最小にして最大の行為）

「この3つを意識して取り組んでいこう、その取り組みに対しての評価は今ではありません。大人になったときに、社会に出たときにわかります。今から身に付けておきたい力なのです。」と伝えました。この一年間、意識して取り組み、さらに成長してくれることを期待しています。